

○「はらまち九条の会」とは、超党派で憲法（特に第9条）を護って、「戦争をしない国・日本」をめざすという市民の会です。何の拘束もなく、年会費千円で、どなたでも自由に入会できます。結成は2005年12月。会員は原町だけでなく全国各地に420名。「九条の会」は全国に7,500、福島県内に100以上結成されていて、それぞれ自由に活動しています。皆さんの住んでいる町にもあるはずです。

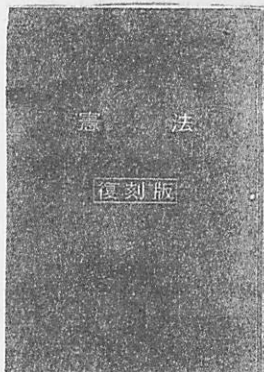


＜新成人に配布号＞

九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No.177

2012(平成24)年 1月8日(日)発行



今日皆さんにプレゼントされた『憲法』小冊子は、41年前の1971(昭和46年)に旧原町市が公費で発行し、当時の原町市の全家庭12,000戸に配布した『憲法』小冊子の複製版です。



成人 おめでとうございます！

○昨年3月の大震災、大津波や原発事故などで、ご家族もご無事だったでしょうか。大変なご苦労をされ、心よりお見舞い申し上げます。

○ところで、大震災以後、被災や避難している私たちの人権が、大きく脅かされています。本来なら「憲法」で私たちの生活は守られ、保障されているはずの様々な権利が、今、軽視され脅かされています。

原発事故の被災や避難生活などで 私たちの「憲法」の生存権が脅かされています！

震災以後、特に原発事故による避難生活などで、私たち南相馬市民の被災民も、＜下記のような憲法の権利＞が軽視され、蔑ろにされ、脅かされ、放置されたままで、すでに棄民されているとさえ言われています。

- ①恐怖と欠乏から免れ、平和に生存する権利（前文）、
- ②個人としての尊重（13条）、
- ③生命、自由、幸福追求権（13条）、
- ④居住・移転・職業選択の自由（22条）、
- ⑤健康で文化的な最低限度の生活の保障（25条）、
- ⑥能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利（26条）、
- ⑦勤労の権利（27条）、
- ⑧財産権（29条）、
- ⑨環境権 など



成人になった機会に
「憲法」のこれらの条文を
読んでみましょう！

▼これは4年前の2008年8月15日の終戦記念日に、原町区錦町の県道沿い、ココスさんの向かい側に建てられた看板です。多くの市民からのカンパで建てられました。日本の『憲法第9条』は、世界各国から平和の理想の条文になっていますが、日本人自身はそれに気づいていません。もう戦争などを行う時代ではなく、今こそ大地震や災害に備えておかなければいけません。



世界は憲法9条をえらび始めた
あなたは9条を変えて戦争に行きますか？

はらまち九条の会

憲法第9条・戦争の放棄

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。



アーサー・ビナード講演会「福は内！プルトニウムは外！」

●日時：2012年1月15日(日)13:30～15:30

●会場：(原ノ町駅前)南相馬市情報交流センターマルチメディアホール

●主催：南相馬市国際交流協会 ●協力：としょかんのTOMOみなみそうま

●後援：南相馬市中央図書館・絵本と童話の会・はらまち九条の会

「原発事故で苦悩し続ける南相馬市ですが、今度は「驚異の復興ぶり」で、世界に発信したいものです。」

日本や世界に発信してきた南相馬市です

小高区

現在の憲法草案を起草した鈴木安蔵は小高出身です



鈴木安蔵
(1904~1983)

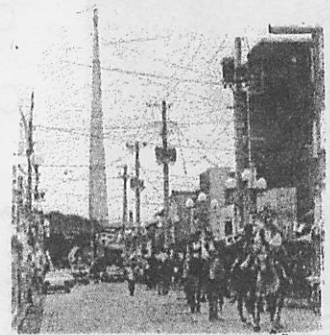
鈴木安蔵は1904(明治37)年小高町生まれ。相馬中学校(相馬高校)を卒業。第二高等学校(東北大学)、京都帝国大学に進学。日本初の「憲法学」を確立し、昭和20年の敗戦後、「憲法研究会」(会長高野岩三郎など7人)の中心人物として、現在の「日本国憲法」のモデルの「憲法草案要綱」を起草。国民主権の原則や、国民の社会権・生存権を規定するなど、重要な憲法の大原則を確立します。私たちの生活を支えてくれている「憲法」の創案者として、故郷の誇れる偉人です。2007年には、鈴木安蔵を主人公に映画『日本の青空』が制作され、小高神社も舞台になり相馬高校生も出演しました。

原町区 関東大震災を米国に第一報で伝えた無線塔

89年前の1923(大正12)年9月1日午前11時58分44秒、関東大震災が起こり、京浜地区の無線局は壊滅状態となります。当時原町にあった高さ200m、鉄筋コンクリート製の「無線塔」が震災の第一報をアメリカに発信し、アメリカをはじめ41カ国からの救援活動が開始され、たくさんの救援物資が届けられ、世界から脚光をあびます。無線基地の役割を終えても、原町のシンボルとなっていました。昭和56年、老朽化により解体されました。

東京で使われる電力が福島で作られていることと同様に、「無線塔」のこんな昔の業績を知る東京、横浜の人も少ないようです。

昭和56年、取り壊し直前の相馬野馬追祭時の「無線塔」(二上英朗著『原町無線塔六拾年史』より)▲



鹿島区 万葉の時代に上方に知られていた真野の萱原まのかやはら

「みちのくの真野の萱原遠けども おもかげにして見ゆというものを」笠女郎かきのいらつめ
これは『万葉集』の恋愛の名歌で、笠女郎が大伴家持への思慕の情を、遠い「真野の萱原」(鹿島区)に託したものです。『万葉集』の奈良時代にすでに、この地方が中央に知られていたことを表しています。しかし、「真野」も大津波に襲われ、今は砂漠や原野のようになってしまいました。

「はらまち九条の会」の現在の活動状況

◆昨年9月から2種類の署名活動を行い、全国から多くの協力や支援が寄せられています。

①「徹底した除染で子どもたちが安心して暮らせるまちに」の署名

★11月末まで<13,334筆の署名>が全国各地から集まりました。10月末に福島県知事と南相馬市長に、徹底した除染を早急に行うよう「要望書」を提出。★12月20日には「はらまち・小高九条の会」の代表5名が直接、東京都内幸町の東京電力本社を訪ね、青木岳洋支援総括部長に「署名」を手渡し、東電自身が早期に責任をもって徹底した除染を行うよう「要求」しました。<右写真>
★野田総理には1月中旬に手渡して「要求」する予定です。



②「さようなら原発一千万署名」 この署名は2月まで全国で展開されています！

★これは、ノーベル賞作家大江健三郎さんや坂本龍一さん、落合恵子さんらが呼びかけ人の、全国規模で今年2月まで行われている署名で、「脱原発を実現し、自然エネルギー中心の社会を求める」ものです。

＜「はらまち九条の会」事務局連絡先＞

○会長：平田慶肇 TEL0244-24-1211
○会計：井上由美 〒975-0031南相馬市原町区錦町1-43井上薬局内 TEL0244-22-7511・FAX26-0892
○石田賢二TEL22-4037 ○早坂吉彦TE22-0326
○HP担当：大浦祥見(原町区)・佐藤喜彦(八王子市)
○事務局長：山崎健一 TEL090-7527-5453(神奈川県川崎市に避難中) ○番場恵子(市外に避難中)

◆本会が今日のように成人式に『憲法』小冊子を配るのは、今年で5年目(5回目)になります。

またご覧のような会報を月3号程度発行。毎年、平和のため講演会・展示イベントの開催・あきいち参加なども行っています。

◆子ども達が、平和のうちに、安全で安心して住める町にするのが、私たち大人の務めです。行動を起こさないと何も変わらないと考えています。

「はらまち九条の会」

検索

○創刊号から177号まで、すべての「会報」を見ることができます。